

児童の安全な生活を守るために

命は尊いものだ。

だれもがわかっているはずのことだと思えます。しかし、最近では人命が凶悪な事件により奪われてしまう悲しい出来事が頻発しています。昨日は下校後の小学校5年生男子児童が、自宅近くで殺害される事件が発生しました。私たちは、ご家庭や地域の皆様と手を携え協力し、痛ましい事件に児童が巻き込まれないようにしたいと考えます。ご理解・ご協力よろしくお願いたします。

学校では

- ・危険を感じ取り近寄らない感覚を身につけさせる。
- ・自分の命は自分で守る意識を高めさせる。
- ・不審者への対処法を避難訓練で身につけさせる。「いかのおすし」

いかのおすし
・知らない人についていかない
・知らない車にはのらない
・「助けて」とおきな声でさけぶ
・近くの家やどこにもおすぐ逃げる
・家の人や警察に知らせ

児童の安全

ご家庭では

- ・外へ遊びに行くときには、「どこへ」「何時に帰る」等を伝える習慣をつけてください。
- ・ご家庭でも安全な生活について話をする機会をもつようにしてください。
- ・地域での安全な生活に関心を持ち、児童を見守ってください。

地域や関係機関では

- ・スクールガードの皆様による見守り活動
- ・避難の家への協力
- ・藤原交番によるパトロール
- ・スクールガードリーダーによる学区内巡回の実施

このような役割分担で、児童の安全な生活を見守れるようお願いいたします。